

管轄労働局長 殿

勤務形態についての疎明書

今般、私が行った新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金の申請は、大企業での雇用における休業に関するものですが、労働契約上、労働日が明確でない勤務形態に該当するものであるので、疎明します。

記

1 該当する勤務形態

(いずれかに○)

	シフト制 (労働条件通知書の労働日に関する記載が「シフトによる」「週○日勤務」などのみであるなど、具体的な曜日や時間が明確でなく、一定の期間ごとなどに労働日が調整され確定するもの(例えば毎月末に翌月のシフトが示される、勤務日の○日前までに連絡が来るなど))
	日々雇用 (1日単位又は1か月未満の一定期間の雇用契約を繰り返している場合)
	登録型派遣 (労働者派遣事業者(派遣元事業主)に雇用され、他の企業(派遣先)に派遣されており、派遣元事業主と派遣先との間の労働者派遣契約の終了とともに労働契約も終了することとされているもの) ※労働者派遣契約が終了しても派遣元事業主が労働契約を継続させた上で労働者を休業させている場合には、休業支援金・給付金の対象となり得ます。

2 上記1に該当することを確認できる書類

(いずれかに○)

	あり(添付しているものに○) () 労働条件通知書、雇用契約書など労働条件が明示された書類 () シフト表 () 日々雇用の職業紹介を受けた際の紹介状、求人票又は求職票 () その他 →(具体的に) ()
	なし →ない理由() →具体的な勤務状況 ()

※ 確認書類がない理由の例:「事業主から交付されたが紛失した」、「事業主から交付されていない」など

※ 確認書類がない場合の具体的な勤務状況の記載例:「シフト制により1か月あたり○日～○日程度就労していた。労働日については○日前に○○の方法で連絡がきていた」など

令和 年 月 日

氏名 _____